



もっくいな

人形で  
エロい事しよう!!  
~本人はムリポ~

ver. 姫アルク

—何の用だ、人間。





…溜まつたから相手をしろ？

ムニ

グ  
イ  
ツ

相変わらず無粋よな  
もう少し言い方といたろもがあるろに…



ふん、断つたところで無意味だろう…  
まったく、私を手籠めにしておきなながら  
求めるのは肉欲ばかり…世の魔術師が知れば

まあよ…  
それで、今宵は何を望むのだ？



私からは何もせぬ。  
せいぜい汚して愉しむがよい。

必死だな人間…そんなに私の乳房は  
美味しいのか？

…言うておくが、乳なぞ出ぬぞ？
















ふむ…満足したか？

…おでよいのかな？





確かに、この姿は無様だろうが…  
人としての辱めなど意味が無いのは  
解っているのだろうか？

いや…理解したうえで…か…  
訂正しよう、少しばかり不快だ、人間

熱心に舐めるのだな…。  
どれだけ愛撫を施そうが私は喘がぬし、体は反応せぬ。  
…貴様はこの行為で何を糧とじているのだ？

—『この現状そのもの』…だと？  
犬のようなその様をか？  
……理解する気も失せた。飽きるまで  
好きにするがよい。





ジュル…ジュルル…  
ろろしたた…ん…何を耐えたらいい？

貴様の雄汁を  
私に飲ませたいの？  
…早う果てて  
叶えてしまえ  
その下らん望みを





ゴク...ゴク...

んん...!  
ゴク...

ゴク

ゴク

ルルル

ゴク。。。ゴク。。。  
じゅるる。。。じゅる。。。ちゅる。。。...

グキョ  
ゴク..

ゴク。。。ゴク。。。  
ゴク。。。...



フツ…相変わらず濃いな。  
こんな物を私に飲ませるとはな…

ゴクン

感想か…？  
不味い上に喉に絡みつく不快さ、  
その上これが貴様のものという嫌悪感…。  
これ以上に忌々しい料理があるのであれば  
是非に味おうてみたいものだ。

『ばいずり』と言ったか…  
貴様は本当に乳が好きなのだな…

何…？

私の乳に限る、だと？

……それを聞いて私が喜ぶと  
本気で思っておるまいな…

知 知



間近で見ると貴様の  
射精はまるで噴水だな…。

ドロ

まだ硬いままびくびくと震えておる…。  
私にここまでさせてまだ足りぬというのか…。



そらしがみ付かずとも  
逃げはせぬというのに……

聞こえぬか……必死で腰を振りおつて  
ケダモノめ。



よらやらか...

満足したならいい加減  
離してほしいのだが...





……もう、もう、好きすぎる



いつまでも貴様の遊戯に  
付きあうつもりはない。  
…加減はせぬ。  
いい加減、終わりにさせようからんじや…



んぐ…ん…ゴク…ゴク…  
数刻と保たなんだな…ん…  
しかし、未だに満足しきれ  
ておらぬとみえる…

ゴクゴク

ゴク

ドビュッ

ドビュッ

ドクッ

ドクッ





……尻でしただいと？

ヴァギナといい口といい、貴様は  
全ての孔を使わねば気が済まぬのか？





私の中で随分と猛っておるな、人間

前の孔よりもそちらがよいのか？  
…変わっておるのだな、貴様は

出したか…ふむ  
気のせいかな、膣に出したときよりも  
精液の量が多く感じるな…





交おうてから随分と経つが  
……貴様の性欲には驚嘆するな。

何度も精を吐き出しておるといふのに  
……一体どれだけ溜め込んでおるのだ？





出したか…これで何度目だ？

いい加減…飽きぬものなのか？

おかしな奴よ…。  
私を犯しておつた時よりも余程良い顔をしておる。

あれほど好き勝手しておきながら  
我が寵愛を望むその醜悪さ…ククク  
まこと度し難いな、貴様は



フフ…よう跳ねよる…！  
私が上の時はいつもこうだな。

わかっておる、まだ足りぬであろう？  
構わぬ、この身が孕むまで相手をしてやろう…





随分愉しんでおるようだな、人間。  
…妙な意識を感じると思えば…、成る程  
私を降ろすとは大したヒトガタだ

ほお…この状況下で尚、貴様の脈動を強く感じる。  
——よからう、その望み叶えてやるらう



フフ…感じるぞ、  
歓喜に震える貴様の胎動を…。  
私に犯される悦びに打ち震える魂を

さあ…解き放つが良い。

その欲望全て、このヒトガタで受け止めてやろう！

はは——出しおったか。

成る程これが人の精か……熱いな、焼けるようだ

カカ……未だに萎えぬにおるか。

良いぞ、興が乗った……このまま貴様が枯れ果てるまで

相手をしてやるらう、本懐を遂げるが良い!





ほう……まだ息があるか、人間。  
殺すつもりであつたが……なかなかにしづとい。  
……これだけされても殺意どころか敵意の片鱗すら  
見せぬとはな。

よかろう、その天晴れな一途さに免じて  
私のヒトガタを許そう。フフツ……一度と訪れぬ今宵を  
想いながら、精々愉しむがよい……